

< 主な改定内容 >

- 1 計画期間を令和5年度からの10年間とした。
【計画本編 P.2】
- 2 計画対象橋梁数を令和2年度に撤去した入谷歩道橋・上野小学校前歩道橋を除いた4橋とした。
【計画本編 P.3~P.4】
- 3 橋梁の現状に、平成30年度に実施した定期点検の結果を反映した。
【計画本編 P.7】
- 4 耐久性の高い塗装工法が開発されたこと及び現在の橋梁の状態を踏まえ、橋梁の塗装塗り替え間隔を延ばした。(部分塗装：1回/20年 全体塗装：1回/40年) なお、今後の技術革新により、より高性能な塗装工法が実現した場合は、塗装間隔をさらに延ばし、費用縮減を図ることとした。
【計画本編 P.9】
- 5 これまでは、対策内容として主に塗装補修を想定していたが、橋梁の構造に影響を与える漏水を未然に防止するため、伸縮装置・橋面補修を追加した。
【計画本編 P.10】
- 6 上記修正を踏まえ、今後30年間の経費を見直した。(約2億7,000万円)
【計画本編 P.11】
- 7 凌雲橋歩道橋の2橋において、集約化を検討することとした。
【計画本編 P.12】
- 8 修繕対象橋梁の2橋において、最新の点検結果に基づき、上野パーキング前歩道橋の塗装間隔を延伸し、今後10年間で、約300万円のコスト縮減を目指すこととした。また、塗装等の補修においても新技術を活用した修繕等を検討・実施し、今後30年間で約1,300万円のコスト縮減を目指すこととした。
【計画本編 P.12】